

24 木曾青峰高校生による製作品の寄贈

【日時及び場所】 平成 27 年 3 月 3 日（火）…名古屋市科学館

【内 容】 以下のとおり

上下流交流で木曾広域連合とつながりの深い「木曾川流域みん・みんの会」では、木曾の水やお酒、木工品などを下流域で販売し、売上の 2%を基金として積み立てていますが、その基金を活用して木曾青峰高校インテリア科で製作した木工品が、このほど下流域へ寄贈されました。

同校インテリア科による木工品の寄贈は今回で 4 回目となり、これまで東山動物園や名古屋城にベンチや木のおもちゃが寄贈されています。今回は、女子生徒 3 名がブナやホオノキで作った木製のおもちゃ 4 点を名古屋市科学館へ寄贈しました。

3 月 3 日（火）、名古屋市科学館でおもちゃの贈呈式が行われました。

木曾からは、おもちゃを製作した生徒 3 名のほか講師の山下先生の 4 名に加え、木曾広域連合の関係者、名古屋市からは、科学館の瀬瀬館長のほか、「みん・みんの会」より河崎事務局長らが出席しました。生徒から瀬瀬館長へ目録が贈呈された後、瀬瀬館長から生徒へ感謝状が贈られました。

贈られたおもちゃは、同館 2 階の「あそびのひろば」に置き、実際に子供たちに遊んでもらう予定です。

☆ 当日の様子



目録の贈呈



製作したおもちゃを前に



おもちゃについて説明



科学館からの感謝状